

**学習指導によって育つ資質・能力に関する一考察**  
—奈良女子大学附属小における1年月組の入学後1週間における  
学習指導を手がかりに—

溜池 善裕

宇都宮大学教育学部教育実践紀要 第6号 別刷

2019年8月9日



# 学習指導によって育つ資質・能力に関する一考察<sup>†</sup>

## —奈良女子大学附属小における1年月組の入学後1週間における 学習指導を手がかりに—

溜池 善裕\*

宇都宮大学教育学部\*

子ども達が自律的に学習できるようになるための学習方法を体得する指導の総体を学習指導として、小学校1年生の1週目の学習指導とその効果を分析した。その結果、子ども達はさまざまなことを学習に転換し、またそれを持ち寄って互いを尊重して共同学習を行う学習の「なかよし」ができるようになっていった。また指導者も子ども一人ひとりをとらえてそれを学習指導に生かす方法を見出し、きめ細やかな学習指導を行うことができた。

キーワード：学習指導、学習法、小学校1年生、1週目の学習指導、朝の会、奈良女子大学附属小学校

### 0. 目的

本稿は、奈良女子大学附属小における「学習法」において、学習指導がどのように位置づくのかを明らかにするものである。これまで筆者は、「奈良の学習法」について様々に考察を積み重ねてきたが、今年度、奈良女附小の薄田太一氏が担任する、1年月組の1年間を追い、あらためて、学習指導が子ども達の学習に関する資質・能力を体得させていくのを目の当たりにした。このことがはっきりと筆者に自覚されたのは、3年前に薄田氏が担任した、1年生の学習の様子を筆者が知っており、その子ども達の学習とくらべると、明らかに今年度の1年生の学習の質が高いのではないかということが、おぼろげながら分かった、6月の「朝の会」についての印象が手がかりとなっている。具体的には、学習の質の高さに関する根拠は、1年月組のお世話をしている6年生組のお兄さんお姉さんへの「おたずね」の際に、1年生の言葉が6年生の言葉にぴったりはりについて

いる、そういう感覚であったが、最終的には2月9日の1時間目の「しごと」の共同学習の前に、どんなテーマで学習をすればよい学習になるかを「朝の会」で話し合い、それを子ども達が決める様子を見た際に、自分たちが共同して作る学習が良い学習になるためには、何についてどのように話し合えば良いかが、学習する以前に、学習を想像して考えることができる子ども達にまで育っていることが事実として確認されたのであった。本稿は、ここまで育った子ども達が、どのような学習指導を経たかを明らかにするとともに、学習指導という概念が、子ども達一人ひとりが筋のある学習を作りながら、みんなで助け合い協力して学習が作れるようにする、学習方法に関する指導の総体であることによって、子ども達がどれほど自律的かつ協力的に学習を作れるようになるかを示すものである。

### 1. 2018（平成30）年度の研究の概要

薄田氏は、奈良女附小に着任した2015（平成27）年4月から、杉澤学氏とともに1年生を担任し、薄田氏が1年生組、杉澤氏が1年月組を担任した。その年度末に新しい学級編成が発表され、2016（平成28）年4月から、薄田氏は2年月組、杉澤氏は2年生組担任となった。2017（平成29）年度は、そのままクラスを持ち上がり、薄田氏は3年月組、杉澤氏は3年生組を担任した。

<sup>†</sup> Yoshihiro TAMEIKE\*: A Study on Attribute and Ability of Children by Learning Guidance: An Analysis on Children's Diary and Teacher's Blackboard Writing in First Grade Class (1-nen-Tuki-gumi) during One Week of Entering Nara Women's University Attached Elementary School  
Keywords: learning guidance, attribute and ability, learning method, learning method of Nara

\* School of Education, Utsunomiya University

現在の奈良女附小では、相対的に年齢が上のベテランが月組を担当し、そうでない方が星組を担当するという慣例があるが、杉澤・薄田の二人においては、2年担任時より、その慣例からはずれている。その理由は、杉澤氏が2年担任を終わった2017（平成29）年度の4月から主幹教諭（教頭）となる予定であったので、3年時に杉澤氏が担任をはずれ、そのクラスを薄田氏よりも若い教員が担任をすることで、3年時には原則にもどせる予定だったためである。

しかしながら、学校の事情で、杉澤氏は主幹教諭となったが、担任をはずれず、4年月組の担任となっており、4年星組は、杉澤氏よりも教員経験年数の少ない体育の武澤美穂氏が担任となった。一方、薄田氏は、1年月組の担任となり、1年星組の服部真也氏（専門は「けいこ（造形）」）と組んで1年生の指導にあたることとなった。

1年月組の子ども達を最初に参観したのは、4月17日であった。附属小は入学式が4月11日であったので、入学してまだ1週間しか経ってない子ども達を見たわけである。しかし、筆者は、薄田氏から子ども達の指導の様子をあらかじめ電話でうかがっていたにもかかわらず、「薄田学級は騒がしい」という先入観にとらわれ、薄田氏がこれまで通りに「あの」指導をしているという思い込みにとらわれ、新たな学習指導をとらえることができなかった。

「あの」指導というのは、薄田氏の担任した学級の子供達を追った3年間の指導について、同学年を組んでいたベテラン、杉澤氏から再三指摘された指導である。杉澤氏の指摘は、大要、1) 薄田氏は学習指導をほとんど行っていない、2) 学習指導が十分でないで子ども達が育っていない、3) したがってこれを「奈良の学習法」として取り上げて書かれるのは心外である、というものであった。

薄田氏の実践については、公立学校時代から取り上げ、附属小に着任してから3年間、詳細に分析しており、その成果をもとに学会誌論文にしていたこともあって、指摘された当初は、杉澤氏の指摘の方が間違っているのではないかと思えた。しかし、杉澤氏の指摘が頭から離れない筆者は、4月17日に1年月組の教室に足を踏み入れたとき、「朝の会」や「しごと」学習において、教室で起こっている出来事と無関係なことをしているように見える数名の子ども達を見つけ、3年前の1年星組の子ども達のまさに

再来のような印象を持ち、そのために3年前と同様の指導をしていると思い込んでしまったのである。

このような思い込みを筆者がしていた根拠は、第一に、4月17日、薄田氏にある種、指導のつもりで話をし、それを杉澤氏に報告していること、第二に、5月17日、2度目の参観時に撮影した動画では、先生の話聞いていないように見える子のうち、一番後ろの席の3人ばかりを「朝の会」で執拗に撮影していることである。つまり筆者は、5月17日になってもなお、薄田氏の指導が3年前の1年生への指導と同様であると信じ込んでいたのであり、この2点の報告文書と動画が残っているという点で、それは決定的である。

また、この2点から分かるのは、観察者は、単なる観察者であってはならず、あらかじめ実践者の話をすべて正しいものとして受容し、その目で子ども達を見なければならないという、まったく基本的なことを怠っていたということでもある。加えて、薄田氏の授業は、2009年以来、10年近くにわたり見てきたから、「その指導は変わらない」と、どこかでたかをくくっていたのである。

そこに杉澤氏による上記のような指摘があり、薄田氏の実践はどこか間違っているのかもしれないという不安にとりつかれ、上記2つの事実を惹起するまでに、まさにうろたえたということであろう。

これまでの3年間において観察された、3年前の1年生とは、子ども達の成長の様子が違うのではないかと感じ始めたのは、6月25日の参観時であった。3年前の同時期の参観で、印象に残っているのは、プールの授業のあとの「しごと」学習だったこともあるが、体力のない子が寝てしまい、まわりはその子に気を使ったりしている中、カーテンをあけて外を眺めている子がいる、そういうぼんやりとした印象の教室の風景であった。

けれども2018年度入学の1年月組の子ども達は、プールは始まっていたが、教室は活気に満ちていた。参観した6月25日に、6年生の話に耳を傾け、分からないことがあるとおたずねをする状況を目の当たりにしたとき、6年生の言葉の一つひとつに1年生がぴったりはりついていてという不思議な印象を筆者は持った。

その印象が、単なる印象ではなく、事実であることに気づいたのは、7月21日の「朝の会」と「しごと」がきっかけであるが、正直に言えば、それがはっ

きりと確かめられたのは、薄田氏からあずかった板書の写真を4月12日からそのまま時系列にならべ、子ども達に何を指導していたかを板書を関連させながらながめ、1年生組の服部真也先生に「おとなりのクラスはこういう学習指導をしています」というレポートを作成した、12月の末のことであった。

1年月組の様子を星組担任にお知らせしたということもあって、どのような具体的な学習指導をしているかについては、同様のものを月組担任・薄田氏にもお送りしていたが、折り返し連絡をいただき、「こうなっているんですか」という反応であった。そこで分かったのは、一つには、学習指導している本人には、学習指導はしているけれども、具体的にどのように子ども達にその指導が入っているかは、客観的には分からないということである。けれども、それにもまして重要なことは、薄田氏が今年度、何度も口にされていた「指導が入っていく」という、指導者側の印象や感覚が、この時系列の簡易的な表によって「やっぱりそうであるか」という確信を得られたということである。

筆者が手がかりとしたのは板書であるが、板書を見ると何を学習指導したのかが分かり、また時系列の板書を相互に比較すると、その学習指導がどのように実を結び、またどんな学習指導が重ねられているかが分かった。一連の板書から了解されたのは、子ども達が学習するように仕向けると子ども達は、その学習を翌日にはすぐに使って学習を展開し、その学習をうまくとらえて別の学習の仕方について学習指導し、その上で新たな学習を仕向けることを間断なく連続的に行っていることである。

ある学習が仕向けられると、1年生であるから余計に、翌日の学習は仕向けられた同様の学習でいっぱいとなる。それが、教師によってまなまと収穫され、その収穫物を使って別の学習指導が行われ、ここでもなんらかの問題点の指摘やその問題の改善方法が投げかけられ、子ども達はそれに実によく応えて学習を作ろうとするのが手によるように分かった。子ども達は、翌日に応えられるようなものは応え、翌日以降に地味にしかし着々と一人学習をして数日後に応える様子などが確認された。

これを受け、さらに板書の一部を時系列に表にした。この作業によって、学習指導とそれによる効果、つまり、子どもにつけさせようとし、また実際についた資質・能力を具体的に確認した。また、2月8日、

9日の学習研究会の公開では、2月8日の「しごと」学習の終わりに、ある子がこの日の共同学習の急所をついて、それが子ども達によって持ち帰られ、翌2月9日の「朝の会」では、持ち寄ったものでどのように学習すれば良い学習になるかを考えつつ、1時間目の学習のテーマが決められ、実施されるという、1年生とは思えない光景が教室で展開されたのを受けて、撮りためた「朝の会」やしごと・けいこの動画すべての逐語記録を作成し、そこで、何がどのように学習指導されているかを確認した。

## 2. 1年月組の子ども達の学習の到達点

まず最初に、1年間の学習指導を通して、子ども達はどの程度まで、学習の「なかよし」を意識するようになったかを確認しておこう。ここで言う学習の「なかよし」とは、共同学習においては、お友達の話最後までよく聴いてそれを受け止め、自分の一人学習をどのように生かせば学習が深まるかを考えながら自分の意見を述べ、またその共同学習で見つかった課題を生かして、一人学習においてはさらに学習を深めていくという学習の在り方である。この確かめには、2月9日に実施された「朝の会」(付:授業記録 参照)が最も適切である。なぜなら、この「朝の会」は、前日の2月8日の最後にT男君によって示された、これまで考えてこなかった新たな視点での学習をみんなで共同して作るためには、どんなテーマで学習するのが良いかを話し合う学習だからであり、したがってそれは、第一に、T男君の「時代が変わっている」という意見を受けて、様々にお友達から出された意見のどれもが生きするような学習の場を考え、それにふさわしいテーマを考えること、第二に、その学習の場を通して明らかになった課題が子ども達それぞれの一人学習につながることを考えることの、二つが同時に求められるからである。前者は、共同学習を実現しようとする、附属小の言葉を使えば、学習の「なかよし」を実現する見通しを持つことであり、後者は、一人学習を意識すること、同様に学習の「なかよし」をさらに深める一人学習の見通しを持つことである。

### (1) 2月9日の「朝の会」における学習指導

薄田氏は、あらゆる場合をとらえて、子ども達を学習指導しているので、たとえ到達点と位置づけていても、それは同時に通過点であるから、2月9日の「朝の会」においても、子ども達の学習をとらえ

つつ、学習指導が必要な場面で教師が出ることと、その際には、子どもの発言を学習に位置づけて学習指導する場面が見られる。公開された「しごと」学習は、1月8日から始められた「とんどやき」である。この単元は、今まで薄田氏が設定していたどの単元よりも小さく、また驚くほどに子ども達の学習の進みは早く、2月1日に1月ミニとんどを6年生に手伝ってもらいながら実施し、2月8日には早くも「いちつき ミニとんどをして おもったこと かんがえたこと」を実施し、学習公開にこぎつけている。翌日、2月9日は、「朝の会」で、昨日の学習を思い出しなが、次の1時間目の「しごと」学習のテーマをどうするかを話し合ったが、この「朝の会」で薄田氏が出た、4つの場面をそれぞれに見てみよう。

#### A. 自分がそう考える理由を提示する学習指導

14C女 はい。私はGH男君やF女さんの意見と違って、私は、とんど焼をどうすればなくならないようになるのか、がいいと思いました。どうですか。

15T C女さん。理由があったら、理由を言ってよ。なんでそう思ったのかを言ったら、みんなに伝わるよ。

16C女 はい。どうしてかというと、場所や、問題なのが出ていて、できなくなるかもって思って、今まで、だから、できな、このまま簡単にできなくなるってことじゃなくて、どうすれば、とんど焼きをこれから続けられるのかを考えたいなと思ったからです。どうですか。

この学習指導場面は、C女さんが、根拠や理由を提示することなく、自分の考えを述べて終わろうとしたところをつかまえた場面である。薄田氏は、子ども達を書いた作文（日記・ノート等）で、目に留まったものは複写しそれを読んで、どのような学習をしているかを知っているから、C女さんについても同様の把握がなされている。では、C女さんがここで学習指導されている、理由や根拠について、学習はできているかといえ、一人学習ではできている状態だったのである。薄田氏によって複写されている、最も間近の作文は次の通りだからである。

#### 1月24日「とんどやき」C女

今日、わたしは、とんどやきについて かんがえました。みんなは、「大うんどうじょうの まん中で やろう。」と いていましたが、大うんどうじょうの まん中は、たしかに、なにも ないけど、A①ほかのクラスが つかっているかも しれないので、がっこうに れんらくをして、A②みんなに

も はなして みたいです。先生は、2月1日をよていされているので、ほかのクラスの たいいくなどの がくしゅうが なかったら いいなと おもいます。

C女さんは、自分が学習をもっと深めよう、薄田先生のために学習を頑張ろうという熱い思いがあり、その思いに支えられて、やや乱暴に学習を進めてしまう傾向があるが、下線部①に気づき、それを理由に、「大うんどうじょうの まん中で やろう」というのは、確かめないといけないのではないかと、またそういった考えを②のように「みんなにも はなして みたいです」と言っているである。そのような状態にあるC女さんであるから、ここで立ち止まらせて、薄田氏が話した「15T C女さん。理由があったら、理由を言ってよ。なんでそう思ったのかを言ったら、みんなに伝わるよ」は、自分の学習のことをよく知って、見守ってくれていることと、ちょうど良いタイミングで背中を押してくれていることが、C女さんには心に沁みるのである。だからこそ、C女さんは頑張って、「場所や、問題なのが出ていて、できなくなるかもって思って、今まで、だから、できな、このまま簡単にできなくなるってことじゃなくて、どうすれば、とんど焼きをこれから続けられるのかを考えたいなと思ったから」と丁寧理由が説明できたのである。

このような、先生と子どもの、感情の機微の分かるやりとりは、ほかの子ども達の胸にも響くのであり、次の17V女さんの理由を述べて意見を言うという発言となったのである。

#### B. 学習のテーマとずれない意見を提示する学習指導

17V女 はい。私は、とんど焼き、とんど焼きが、は、やらなくなった、やらなくなっても、も、やらなくなったら、どうすればいいのか、というテーマがいいです。なぜかという、私はずっと、ずっととんど焼きを、ずっととんど焼きを続けてほしいし、もしとんど焼きがなくなったらどうしようと思ったからです。どうですか。18T ちょっと待ってね。続けて欲しいし、どうすればこれから続けられるかって考えた時のテーマをあなたは今なんて言った？

19V女 とんど焼きをやらなくなると、とんど焼きをやらなくなったらどうすればいいのか。20T とんど焼きをやらなくなったら、どうすればいいのか。それと、B①でも、あなたの、これからどうすれば続けられるのか、あれ、それ結びつくかな。V



女さん、どう思ってるのかな。これからも続けたいと思ってるんだね。＜V女、うなずく＞それはいいんだね。B②私はこれからもとんど焼きを続けたいと思っています。うん。いるから、どんなことをみんなで話し合うかっていったら。どうなるのかな。これから？21V女 これからずっと、とんど焼きをどうすれば続けられるのか。

V女さんは、1学期から観察すると、何としても自分の出番を作り、そこで発言しようとするのではあるけれども、話が支離滅裂となり、自分のお話に一本の筋を通すことができない子なのである。例えば、以前、夏休みに入ったばかりの7月21日に、生活科・総合の研究会で、100人以上のお客さんの前で、学習を公開するという、子ども達にとってはどきどきするけれども、がんばって自分たちの学習をお客さんに見せたい、そんな機会がおとずれた。この学習は、子ども達が保健室の先生のことを調べて、この日「つじむらせんせいは なぜ しごとがたのしいのだろうか」を話し合う、共同学習であった。V女さんは日直の一人であるから最初の部分の司会をするという出番はあったが、G女さんとC女さんによる、保健室の先生へのインタビューを劇終末の、次のようなG女さんとC女さんとの投げかけで学習が始まり、そのあと学習は相互指名となったので、V女さんの出番はなくなった。

39G女 私は気になったことがあります。それは前に、QR女さんが、りん先生が大変でないように見せているだけ、と言っていたことです。私はそうは思いません。私がインタビューをした時は、「楽しい！」とおっしゃっていたからです。なぜ楽しいと言ったのか、気になりました。その理由を考えました。なぜなら、私は、いつもりん先生が笑顔でみんなに優しくしているので、りん先生がお仕事に楽しいとおっしゃったからだと思います。40C女 あたしは、きっと、けがや病気が治ると、先生は嬉しいからだと思います。41C女・G女 みんなはどう思いますか。

学習はその後、55F女「りん先生は、ため息をついていた」から「仕事は楽しいとは思いません」という発言が、学習の流れを大きく変える中、V女さんはようやく授業の最後になって発言が認められ、次のように発言する。

69V女 はい。私は、私は、辻村先生に、に、忘れしました。私は、は、L女さんやO女さんみたいに、

O女さんは湯たんぽを作る時、ため息をついていたと言っていました。私も、B③湯たんぽをもらう時、ため息をついていた気がします。でも、B④L女さんのように、ため息をついている時はあったけど、疲れている訳ではないと思います。【35分】なぜかと言うと、B⑤誰だって、て、一日に一回ぐいらはため息をつくと思います。(T うふふふ。うん)でも、疲れている時つく、ため息をつく時があるけれど、ど、辻村先生は、お仕事が、お仕事が楽しいと、みんな言っているの、B⑥楽しいからあんまり疲れない、疲れない、い、と思うので、疲れている訳ではないと思いました。どうですか。

69V女の発言を見ると、B③のようにF女さんの発言を認めつつなされているB④の根拠は、B⑤・B⑥ともに一般論であり、また推定であるから、ここであえて発言しなければならないような、どうしてもお友達に伝えなければ学習が深まらないものではないことが分かる。したがって、この発言は、子ども達の胸には響かない、共同学習には位置づきにくい発言なのである。共同学習に位置づくとは、この発言を通して、みんなの課題が見つかったり、その課題解決に向けた次の共同学習までに一人学習を深めようとしたりすることにつながる、みんなにとって意味があるものということであるが、そのためには、しっかりとした一人学習が必要であり、その上で共同学習にのぞみ、学習全体の流れを見ながら、お友達にとって意味のある出がでなければならぬのである。たとえ一人学習をしていても、学習全体の流れとは無関係に、言いたいことを発言するのではなく、お友達の話に耳を傾けることで、みんなの学習に役に立つように発言する必要があるのである。これは附属小の、とくに「しごと」学習には不可欠な、学習の「なかよし」が実践できるということである。学習「なかよし」では、独りよがりの一人学習ではなく、お友達の学習の役に立てるような厳しいまでの一人学習をもとに、協力して学習を作ろうとする、厳格さと柔軟さが、同時に求められるのである。けれども、V女さんは、学習「なかよし」が実践できるほどの一人学習が、できていなかったのである。

このような、学習「なかよし」が実践できないという問題は、V女さんに限らず、学級の子ども達全体の問題でもあった。それを解消すべく実施されたのが、9月18日以降の、子ども達の夏休みの自由研

究の発表である。あらかじめ発表内容の紹介文を発表者が書いて、それを全員に配布し、その紹介文を見ながら、関係することを一人学習し、発表時に「おたずね」をするのである。

#### 9月16日「どくじがくしゅう」V女

今日 A男くんの しおのことについて、どくじがくしゅうを しました。まず、しおが はいっている たべものを しらべて、スポーツドリンクにはいっていると して ふしぎに おもいました。なぜ ふしぎに おもったかという、しよっぱく ないのに、おしおが はいっているなんて ふしぎに おもいました。しおの つくりかたを かんがえました。わたしは、うみの みずで つくると おもうけど、つくりかたが わからないから、A男くんの はっぴょうを ききたいです。

V女さんは、A男君が発表する予定の塩について、塩の入っている食べ物をしらべることで、「スポーツドリンク」は「しよっぱく ないのに、おしおがはいっている」のは「ふしぎ」だと思っていたのは、肝心の塩の作り方については分かっていないから、それをA男君に発表時に聞こうというのである。

このような、学習においてお友達と「つながる」、V女さんの動きは11月になると、さらに加速する。

#### 11月10日「しごととのふりかえり」V女

きのうの しごとで、もぞうしはっぴょうをして おもったことが あります。わたしは、もぞうしを、1人ではなく、4人で はっぴょうするとき、B⑦1人ではないので、いろんな いけなが でて、はなしあいをしなないと いけないので たいへん でした。B⑧でも、その たいへんを のりこえて、はなしあいが できました。つぎは、どこを だれが よむか きめるのが、たいへんだと、おもいました。けれど、そんなに たいへんでは ありませんでした。なぜかという、みんな おなじ いけんを もっていたからです。はっぴょうでは、たくさんの人が いて、ドキドキして、れんしゅうしたことが できるか、B⑨しんばいだったけれど、うまく できました。きのうは、うれしかったです。

V女さんは「もぞうしはっぴょう」の際に、一緒に発表する4人と話し合いをしたのである。その話し合いがなされたのは、B⑦のように、どのように発表するかについては、4人それぞれに考えが違ふことが自覚されていたからである。この話し合いは、B⑧のように「たいへん」なものではあったが、そ

れを「のりこえて」発表にこぎつけており、そのような「たいへん」さがあったからこそ、B⑨のような思いを持つことができ、V女さんは一回り成長しているのである。したがって、この作文は、まさしく学習「なかよし」を実現しようとする、V女さんの努力そのものが書かれているのである。

このようなV女さんは、このあとの国語の「くじらぐも」の学習においても、次のような作文を書いている。

#### 11月28日「こくごのかんがえ」V女

今日、国語がありました。わたしは、おもったことが あります。それは、P女さんの かんがえは、いい考えだとおもいましたが、「ボタンボタンとスムーズに」ではなく、「かなしかったけど たのしかった」と おもいながら かえっていったというほうが わたしは いいと おもいました。でも、B⑩P女さんの いうように、「ボタンボタンとスムーズに」も いいんじゃないかと おもいました。B⑪でも やっぱり わたしの かんがえは いいと おもいました。B⑫なぜかという、わたしがくじらぐもだとして、おともだちと あそんでいて、かえろうと いわれたら、すこし かなしくなりますが、みんなと あそべたので たのしかったという きもちのほうが つよいので、くじらぐもは、かなしかったけど たのしかったと おもったから、げんきよく かえれたんだと おもったからです。

この作文からは、B⑩でお友達の考えを一旦受け止め、しっかりと根拠B⑫を示しつつ、B⑪のような自分の考えを作っていることが了解される。このような一人学習がなされていれば、国語の共同学習において、理由を明確にして自分の意見を述べることで、お友達の役に立つことができるのであり、学習「なかよし」が実現しやすくなる。

ところが、この努力を妨げたのは、「とんどやき」の学習が、学習研究会で公開される直前に、参観に来ていた「おかあさん」だったのである。

#### 1月24日「1月ミニとんどでもやせるもの」V女

今日、おかあさんが しごとの学しゅうを見にきていて、「『1月ミニとんど』で、もやせるもの、もやせないものがあるんじゃないかな。」と いていました。きのうも今日も、ゆうどくガスの はなしを している子がいて、本とうに とんどやきを すると、ゆうどくガスが でるのか、「じじつ」



をしらべてみました。(中略)1月ミニとんどでも、ゆうどくガスが出ないようにビニールやプラスチックがついているものは、もやさないで、かみなどはもやせます。なので かきぞめは もやせます。じじつを して よかったです。

V女さんは、学習の「なかよし」を積極的に作ろうとし、それが実際に公開される学習研究会の場で発揮されることで、学級の中に位置づこうとたゆまぬ努力を続ける中、おそらく「おかあさん」はわが子が研究会で活躍できるようにと、学習を参観して、学習で出たばかりの視点「ゆうどくガス」を伝え、それに関する事実を調べる学習を示唆したのであろう。けれども、そのような一人学習では、「ゆうどくガス」について調べたことをV女さんが発表する以上のことはできないのである。

V女さんが一人学習で迫るべきなのは、「ゆうどくガス」が出て、まわりの迷惑になるかもしれないけれど、そんなとんど焼きをどうすれば続けられるかなのである。V女さんは、自分の学習を自分の筋一とんど焼きを続ける一において作りつつ、とんど焼きを続けるためにどうするかを考えて、そのことによってお友達の学習の役に立つことが必要なのである。そこで、すでにV女さんが学習「なかよし」の努力を続けていることを知っている薄田氏は、B②で、「だったら今度は、今日のみんなの学習でお話をつなげることをやってごらん」と、背中を押しているのである。この出は、まさしくそういう機微において、V女さんに学習「なかよし」を迫る場面なのである。V女さんは、「ゆうどくガス」が出て近所迷惑になり、とんど焼きが「やらなくなったら、どうすればいいのか」が心配なのであるが、それは「おかあさん」に示唆されたことを調べたからである。そこで、V女さんにできなければならないのは、「おかあさん」から自立し、自分の学習の筋一とんど焼きを続ける一において、その考えが生かされるように学習のテーマを考えることである。21V女は拙いようにも見えるが、決してそうではなく、「これからずっと」という素直な自分の気持ちをともなった、学習「なかよし」への積極的な参画の表明なのである。

このような決意に満ちたお友達の発言に応え、お友達の考えを「つなげる」ことに挑戦したのが23W女、26IJ男、31Y男であるが、とくに31Y男の「つなげる」がまわりの子どもにも分かる発言で

あることから、位置づけられ、そこで学習指導が行われるのである。

### C. お友達の意見のどれもが生かされる学習を考える学習指導「つなげる」

31Y男 はい。C①僕はN男君のところから始めると思います。C②なぜなら、千年以上続く行事はやめるわけにはいかないということを話し合うと、GH男君のこれからも続くようにという、C③Z女さんのどうやってか、あの、こうすればいいとかに変わらと思うからです。どうですか。32T ちょっと待ってね。今のY男君の話聞いた？本当に聞いた？あので、ちょっとね、先生、今、びっくりしたことがあるんです。みんなはどう感じたかな。あのね、今、Y男君は、昨日、N男君が、いま口に加えてますけどね、N男君は、そうなんですよ。やめるわけには、C④千年以上続く行事だからやめるわけにはいかないというところを話し合えば、ここ<T、板書の「これからづづけられるか」を指す>につながりますよって言ったんですよ。意味わかりますか。

けれどもここで、Y男君が「つなげる」ことができていることをとらえて、「つなげる」を学習指導するだけであるのならば、その学習指導はまわりの子ども達には意味があっても、Y男君はそれができるのであるから、無意味なものになってしまうのである。それでは、ここでの学習指導は、Y男君にとって、どのような意味を持っていたのだろうか。

Y男君の作文を通覧すると、11月14日にはすでに、「つなげる」について書いた次の作文がある。

#### 11月14日「ぼくのかんがえ」Y男

きょうの、ぼくの しごとのめあては、「きのう『おかねを もらうところが、しごと』と かいていたけど、ほかの みんなの いけんで、ちがうことがわかるかも」という めあてで、かんがえのときを あげました。なぜなら、その めあての ことが、できたからです。こんなことは、はじめてなので うれしくて、こころで「ラッキー」と いていました。でも、さいしょは。みんな人の きもち(思い)ばかり いていたので、あげないほうが いいかなあ？ だって しごとばの ことは なにも いてないもん…と おもっていましたが、先生が、「テーマのことは どうしたの？」とおっしゃったので、「よし、てを あげるぞ」とおもって あげたのです。だれの いけんを、つけ

たしたかという、みんなの「たのしい」です。それで、「しごとは、みんなの ゆめを かなえられる」という おもいを つくったのです。

Y男君は、当初、仕事について「おかねを もらうところが、しごと」と考えていたが、そこに「みんなの『たのしい』」という意見を加えて「つなげる」を行い、自分のめあてである「ちがうことが わかるかも」を実現すべく、「しごとは、みんなの ゆめを かなえられる」という考えを作った。それが11月14日の学習なのである。この時の「つなげる」ができた不思議な感覚は、翌日になされた「ふりかえり」の学習においてあらためて、Y男君自身によって次のように確かめられている。

#### 11月15日「ふりかえり」Y男

きのうは、めあてどおりに、みんなが いった「たのしい・うれしい」から、あたらしい いけんがつくれて、みんなに かんしゃしているし、うれしかった。この けいけんで、人の いけんが だいじだと おもいます。なぜなら、きのうのように、みんなの おかげで、かんがえが つくれるし、QR女さんのように、むずかしいことも、かんがえているからです。(以下、略)

「あたらしい いけんが つくれて、みんなに かんしゃしている」「みんなの おかげで、かんがえが つくれる」は、お友達がいるからこそ、自分の学習が作れるという、まさに学習「なかよし」ができた時に湧き上がる感覚であり、その大切さを噛みしめていることを示唆する叙述である。したがって、これほどまでに大切なことを自分にもたらしめた保健室の学習は、Y男君にとってかけがえのないものとなっていたはずである。そのかけがえのなさは、保健室の学習が終わることになって、Y男君自身によってあざやかに意識されることになる。

#### 12月7日「ほけんしつのおわり」Y男

きょうの、2じかんめ、しごとの ほけんしつがおわりました。ふりかえりを いえたのは、うれしかったけど、ほけんしつが おわるのは、かなしいです。なぜなら、ほけんしつは、げきして、だいすきだったし、いちばん かんがえを、多く かんがえれたからです。もう一しょう できないかなと、しんぱいしたけれど、先生が「まだ しらべて いいよ」と、いつてくれたので、おちつきました。

この日記に見出されるのは、自分にとってかけがえのない、保健室の学習を終わらせたくないという

強い思いであり、この思いを持ちつつ、1月からの「とんどやき」の学習に入り、2月9日の「朝の会」を迎えていたのである。したがって、Y男君にとって、自分がすでに理解し体得している、お友達を大切にする学習「なかよし」を先生に位置づけてもらうことで、自分の大好きな保健室についての学習を続けることも大切ではあるが、お友達みんなの考えを「つなげる」ことでテーマを作り、そのことによってみんなに意味のある学習を作る役割を果たすことも大切な君の役目だよと伝えられ、Y男君はしっかりと受け止められると同時に背中を押されているという感情を持ったのである。Y男君における薄田氏の学習指導の出は、おそらくそのような意味をともなっていて、彼の心に響いたのである。

#### D. 多面的な視点から問題解決をするための視点をもつ学習指導

31X女 IJ男君が、どうして材料がなくなってるのかって(T うん)で、Y男君はD①百年以上(C千年。T 千年です。うん)千年以上、続く行事は、行事の材料がなくなるとつなげる。32T はああ、今、今、X女ちゃんの方からね、すごい言葉が飛び出しました。つなげられる。この考えいいですな。R女さん、同じこと言ってたね。つながるよ。ということは、IJ男君の確かに、よく気がついたね。X女さん、久しぶりでよく気がついたね。D②どうして材料がなくなっているのかと、これを考えたら、こここT、板書「どうすれば、とんどやきは、これからもつづけられるか」に矢印を引く>も考えられるんじゃないかって言ってるんです。

Y男君の「つなげる」が学習に位置づけられたので、姉であるX女さんが、別の「つなげる」を出したのが、31X女である。X女さんの日記を通覧すると、この日まで、「つなげる」はできていない。したがって、弟のY男君がさっきやった「つなげる」を参考に、この日、すぐにそれを試みたのである。その結果、D②で位置づけられているように、弟とは違う視点で「つなげる」ことができたのである。この「つなげる」は、Cの「つなげる」をより先鋭化した、具体的な視点で「つなげる」であり、その意味では、多面的な視点から問題解決をするための視点をもつことに関する基本的な学習指導であると言えよう。

このあと、36L女、41R女、44M女と続くが、36L女は位置づけにくい内容であり、44M女は理

由を言って「自分の考えをしっかりと言えた」として位置づけられるが、R女さんは昨日と「テーマが一緒だったら面白くない」という理由にならない理由を提示したため、「私はこうがよいと思います。なぜか」と言った方がよいという事例として、47Tで位置づけられている。

#### E. 歴史的存在としての人として学習をするという学習指導

「朝の会」の一連の流れを見て、判断をしようとするのが次の50F女であり、その判断を確認しているのが51Tである。F女さんは、E①のようにTによる学習指導が「つながっている」と位置づけている。けれどもF女さんは、みんなで学習を作るためには、「N男君が言った意味がよい」と考えているのである。

50F女 C女さんの意見もよいと思うけど、(T うん)E①確かにみんなの意見、T男君の意見(T はい)私が言った意見、M女さんが言った意見、は確かにつながっているけど、(T うん) どうすればとんとど焼きをこれから続けられるのかっていうのもテーマに合っているんですけど、(T うん) やっぱ私としては、C女さんの意見もよいと思うけど、(T うん) 一番よいと思うのは、だいたい意味は一緒なんですけど、(T はいはい) N男君が言った意味が(T これですか) いいなと思います。51T はあ、これ、じゃあさあ、加える？ N男君の思いも。(C 嫌だ、私ちょっと違う) これ言っとったら、やばいやばいやばい。<C、笑う>普通だったら、このまま続けるんだけどね。ちょっとちょっとね、(C やだ、続けたいの！) ちょっとそういうわけにはな。F女さん、F女さん、こういうことやろ。千年以上続く行事をやめるわけにいかない、N男君の思いもやっぱりいいよなあって、N男君、本当に考えた？ これすごいな。千年以上続く行事、じゃあ、どうすれば、千年以上続くって、ここに加えたらだめなん？ (C どうしたら、千年以上続くとんとど焼きを続けられるのか) F女さん、それだったらどうですか？ 52F女 オッケーです。

N男君の意見というのは、前日の学習における、12N男「とんとど焼きの煙を嫌がる人の気持ちは分かるけど、千年以上続けてきたからやめる訳にはいかない」である。

50F女の発言にいたるまで、F女さんはどのようなことを知り、どのように考えていたのだろうか。

その日記が以下の一覧である。

#### 1月23日「学校でとんとどやきできないの！」F女

今日、しごとの 学しゅうで とんとど焼きについて かんがえました。私は、学校で 大きな とんとどやきは、むずかしいと 思います。なぜなら、E①いろんな ちかくの人に めいわくが かかるからです。でも、C女さんが「ちかくの人にいればいい」「そしたらとんとどやきにきてくれる」といっていました。学校で とんとどやき、できると いいです。

#### 1月25日「こまったなあ」F女

今日、Y男くんと いっしょに ほりもと先生に「とんとどやき」について ききに いきました。そしたら、「E②学校のちかくに すんでいる人に いわなきゃいけない」といっていました。あと、「E③かってに ポスターとかを はっては、いけない」「E④大うんどうじょうの はじっこしか つかっては、いけない」といっていました。せまい中でどうやってするかまた、かんがえます。

#### 1月31日「みんなわすれてない？」

私は、みんな 1つわすれていることが あると思います。それは、きよかです。E⑤あさださんにしか まだきよかを もらっていません。ほかの人は、いやだと思う人もおおいと思います。E⑥このじょうたいで とんとどやきをして いいのかなーと思います。

#### 2月1日「6年生とのとんとどやき」F女

今日、6年生と ミニとんとどをしました。そのことを につきにかきます。1ばん おうちが ちかい人、Aさんは、いやでは、ないのかなー と思いました。なぜ おうちで とんとどやきを やる人が へっているかも わかりました。それは、ちかくの人にも めいわくになるし、やるのが たいへんからです。そんな たいへんのを 6年生は、よくできるなー と思いました。私は、とんとどやきが へってほしくは、ありません。たしかに やるのは、たいへんだし 目もいたくなります。でも、たのしかったので、おうちでやっても おかしくないと 思います。でも、ちかくの人の ことを かんがえると やるのって むずかしいなー と思いました。あと、とんとどやきを やってなぜ しょうぼうしょに いわなきゃいけないかも わかりました。それは、天気です。E⑦天気によって 火のもえかたがちがいます。し水先生も「今日は、火がつきにくい」

といったのに、とっても 火がつきました。私も E⑧小さい火だとおもったけど よそういじょうに火がつきました。なので E⑨よそういじょうのことが おこるからだと思います。いろいろなことをしれてよかったです。

#### 2月5日「Aさんへのインタビューでびっくり!!」F女

今日、K女さんといっしょに Aさんに インタビューを しました。「とんどやきの けむりがきて いやでは、ありません でしたか?」とおききすると「こころの じゅんぴが できていたので だいじょうぶ でした」といっていました。そのあと「けむりは、きませんでしたか?」とおききすると、「けむりは、きたけど、せんたくものは、よごれませんでした」と いっていました。けむりを しばいして いたけど Aさんは、「せんたくものは、よごれなかった」と いっていて あんしんしました。

#### 2月6日「Oさんにインタビュー」F女

今日、杵つきじんじやの Oさんが 1月に きてくださいました。そしたら「とんどやきを するとき、けむりがきつい。すこし、きゅーけいをしたい」とおっしゃって いました。私も とんどやきを している人は たいへんだと 思います。なぜなら、E⑩けむりがきて あついし、E⑪きた人、200人ぐらいに おさけを くばらなきゃ いけないからです。(以下、略)

この日記には、1) とんど焼きをする上で解決すべき問題 (E①)、2) 堀本副校長先生から教わった、実施するためになされるべき手続きや決まり (E②・E③・E④)、3) 実施過程における人への配慮の大切さ (E⑤・E⑥)、4) 実施の際には予想できないことが起こること (E⑦・E⑧・E⑨)、5) 学校以外で実施するところで起きる問題(E⑩・E⑪)を知ったことが綴られている。したがって、F女さんは、このようなたくさんの方の問題を乗り越えて解決しない以上、とんど焼きができないことを知っているのである。このことと「千年以上続く」というN男君の発言を重視したことをあわせると、このようなたくさんの方の問題は、過去において千年続けてきた人達も同様に解決しながら、大変な思いをしつつ続けてきたのだから、そのような先人と同じ覚悟を持たなければ、今日の学習はできないのではないかと考えているのである。

それはいわば、F女さんが自分もまたその「千年

以上続く」を支えてきた人と同じように、さまざまな困難を乗り越えつつさらにこの先も支え続ける人であること、つまり、過去の歴史を支えてきた人と同様に、自分も歴史的存在としての人として、この学習でとんど焼きについて考えなければならないのではないかと、それを問題提起をし、お友達や担任の薄田先生に認めてもらっているのである。

#### (2) 2月9日の「朝の会」では何が起こっていたか

以上のように見ると、当該の「朝の会」では、教師の学習指導に子ども達が積極的に応えながら、次々とあらたな学習が子ども達によって提示され、それを教師が位置づけて、上記のようなAからEの学習指導が実現していることが了解されるのである。また、このAからEは、学習の難しさの階段をそれぞれの子どもが着実にのぼり、それをまわりの子ども達が感じ取って、次の出をしている結果でもある。それは、学習の難しさの階段をのぼる力を一人ひとりがつけているだけでなく、階段をのぼろうとするお友達の尊厳を受け止め、それに応えようとしたりするような、真の意味での学習「なかよし」が、この日の「朝の会」では実践されていることでもある。AからCについては10分、DからEについては20分足らずで、それらが実現され、とりわけ、最もむずかしいEは、教師によって示唆されたり、ほかのお友達の学習の位置づけで登った階段なのではなく、F女さんがお友達の話の全体の流れを聞いた上で登った階段であり、その意味では驚くべきできごとであるといえるだろう。

一方、F女さんの最後の出は、薄田氏も、また観察者である筆者もともに、「F女さんはこういう出方をよくする」としてのみ捉えられ、学習指導の主体が教師から子どもに移っていることには気づいておらず、この点は反省しなければならない。学習指導の主体が教師から子どもに移るということが、これまで起こるということを知り得ず、またそのようなことを経験したことがなかったことは確かであるから仕方ないという側面もあるが、実際に、このことを確かめることができたのは、学術的にも相当程度、意味のあることである。

#### 3. 子ども達は学習指導の場として「朝の会」をどう位置づけたのか

以上のように見てみると、子どもたちは2月の時点において、「朝の会」を学習指導の場として、自



ら位置づけていることが分かるのである。薄田氏の話では「学習がどんどん楽しくなることが分かったのではないか」<sup>(3)</sup> とのことであるから、薄田氏の学習指導によって、自分たちの学習が生き生きとし、またそのことで様々なことが分かり、楽しくて仕方がない状態になっていったのではないかと考えられる。

では、学習指導によって、子ども達の学習は具体的にどのようなようになり、またそれによって子ども達がどのような楽しさを感じるようになったかを知る手がかりとして、学習指導が始められた、入学式の翌日から1週間の学習指導の様子を見てみよう。

#### (1) 入学後1週間の学習指導と子どもの学習の伸展

薄田氏が1年月組の子ども達に行った1週間の学習指導について、その間の板書をすべて書き出し、それを整理したのが「付・表」である。ここで言う学習指導というのは、子ども達の学習の仕方や方法についての指導である。1週間の間に、どのように学習指導は推移しているだろうか。「付・表」を参照しながら、見てみよう（何も断らない限り、番号は表中の項目「番号」の数字に該当する）。1年生は様々な場面で「足場を求める」<sup>(1)</sup> から、それぞれが様々な自分を認めて欲しいと一人の教師に迫ってくるが、そのような特性を生かしながら、子どもが求めている足場を学習という場にし、学習という場に子ども達が乗ることで「足場を求める」欲求を常に満たすことが重要である。けれども、1年月組での薄田氏の学習指導では、「ききたいこと」をおたずねする際に、相手を尊重するということが、重要な学習の方法として位置づけられて、学習指導がなされていることには留意しなければならない。

##### 1) 最初の学習指導：相手を尊重する

「朝の会」では、1年生一人に、お世話をしてくれる6年生のお兄さん・お姉さんが必ず一人が付いているが、その日に1年生にお伝えをする2人のお兄さん・お姉さんが「なかよし」委員である。「朝の会」ではいろんなことを発表して良いと担任から言われ、1から4まで次々と様々なことが発表されるが、ここでは何ら学習指導は行われない。そして、今度は「ききたい」ことを子ども達に発表させ、その発表をとらえてこれを「おたずね」と言うのだと話をし、最初の学習指導をしている。

単なる「おたずね」をしようという学習指導であるならば、「知りたいこと・分からないことは聞く」

を子どもに仕向け、それを学習指導することになる。けれども、このような学習指導を最初にやってしまうと、「知りたいこと・分からないこと」があれば、とにかく何でも聞くことが良いことだということになり、むやみにそれをしようとする、殺伐とした状況が教室に現れてしまう。われわれは勿論そうであるが、子ども達にとって、最も越えがたいのが自分以外の他者であり、すなわち最も難しいことが「相手を尊重する」ことである。けれども、単純に「相手を尊重する」ことはできず、差し出すことのできる自己が形成されていなければ「相手を尊重する」ことさえできないのである。したがって、「相手を尊重する」は、目指すべき自己のあり方であると同時に、相手を尊重するための厳しい自己形成そのものであるから、人間の営みにおける根本原理でもある。学習が人間の営みである以上、学習における方法の根本原理も「相手を尊重する」ことでなければならないため、その学習指導が最初に行われているのである<sup>(2)</sup>。「おたずね」の6・7・8はいずれも6年生が答えられるものであるから、1年生は相手を尊重していることが了解される。また、このうち7の「6ねんせいの べんきょうは むずかしい？」については、6年生が1年生に分かるかどうかについて、機微をとらえて「おこたえ」をしたはずであり、1年生はそれに気づいてお話を聞いたはずである。さらには、8の「おともだちのなまえは？」は、「おたずね」をされた6年生自身が、誰をなぜ「おともだち」というかを考えなければ「おこたえ」ができないから、同級生を前にした6年生の「なかよし委員」さんの戸惑いや緊張、そしてそれを聞く6年生の同級生による「なかよし委員」さんへの複雑な思いが1年生にも伝わり、その機微を含む全体を1年生は受け止めたと考えられる。ここでは、1年生と6年生の「おたずね」を通して、機微をとらえたやりとりが提示され、「相手を尊重する」学習指導が行われているのであり、だからこそ子ども達の胸に強く響くのである。

##### 2) 子どもの動きをとらえてさらに活発な動きを作り学習指導につなげる

共同学習のための学習指導を行う時機を判断する根拠となっているのが、子どもの動きや発言である。入学式の翌日、4月12日になされた一人学習についての学習指導は、10の「見つける（観察）」であるが、これはあらかじめ設定されたものではない。「朝の



会」第1部が終わると、15分間の掃除であるが、1年生は掃除の時間が「朝さんぽ」となっており、そこでの子ども達の動きを受けたものである。薄田氏は、「朝さんぽ」の時に、教室の窓からも見えるチューリップの花壇での、子ども達の動きが活発であったことに気づき、子ども達がチューリップを見ようとする働きかけを意図的に行っている。その上で、「朝の会」第2部の開始後、10で発言を止めてそれを「みつけた」としてほめて位置づけ、「朝さんぽの時にみつけたものは？」という投げかけを行って、11から16までの発言を引き出ししているのである。「朝さんぽ」での子ども達の動きから、チューリップに興味をもっていると判断し、子ども達がチューリップに関する様々なことを見つかるよう声をかけるなどの働きかけをして、子ども達がチューリップについてのたくさんの発言をするように仕向け、1つのことについて気づいたことを出し合う場を実現することを通して、共同学習の方法に関する学習指導を行っているのである。これは、子どもの動きをとらえてさらに活発な動きを作り学習指導につなげる典型的なものである。

### 3) 子どもの単一な動きを多様な動きに変える

チューリップに強い関心を抱く動きは、翌日、4月13日の「朝さんぽ」でも利用されている。けれどもこの日は、ただの「見つける」ではなく、「～な～を見つかる（詳細な観察）」が起きるような働きかけが意図的に行われ、69から77までの「～な～を見つかる（詳細な観察）」が出されているのである。

けれども、この先、「～な～を見つかる（詳細な観察）」が、チューリップ以外のものについて、羅列的に出されるだけでは、新たな学習指導はできない。「見つける」は「～な～を見つかる」にはなるが、そこに学習としての筋である、目的や意図につながるものがないため、多様な動きが出ず、学習指導が成り立たないからである。そこで、75の「こういうふうに そとがわに」「もしかして」という発言をつかまえ、位置づけているのである。それはなぜかと言えば、「見つける」が、調べたり確かめたりとなるような「不思議なもの・こと」に転換されれば、「見つける」に目的や意図が加味され、その子なりの筋がある「見つける」となるからであり、その子なりの筋は多様であるため、多様な動きにつながり、それがいずれ学習となれば様々な学習指導に位置づ

く学習が回収できるからである。

事実、4月13日以降の日記では、早くもその効果があらわれている。日記からは、子ども達による「不思議なこと・もの」をめぐる動き（①：78・79・80・82・84・85）が活発であることが了解されるが、それ以外についても、きわめて多様な動きがあり、回収可能な学習となる可能性が見出されるのである。自分の学習を相対化する（②：81）動きは、自分の学習の足りないところや向かうべき方向性を自ら見出す一人学習につながるであろうし、計測をとまう連続的な観察（③：83・87）は、この観察による「不思議なもの・こと」の発見につながれば、継続的で粘り強い一人学習にそのままつながっていく可能性がある。また「おともだちが」言っていたことを考えること（④：86・88）は、お友達の力をかりながら一人学習が深まっていく共同学習としての「しごと」の原理、学習の「なかよし」につながるものである。

薄田氏は週明けに日記を回収して読んだはずであるが、あまりに子ども達の動きが活発かつ多様であるため、その動きを逃さずに上手に学習に転換する必要を感じたはずである。そのため、週明けの4月16日は、避難訓練と、非常勤の先生による2時間の「造形」で終わって3時間で下校するのにまかせて、「朝の会」は簡単に実施して流し<sup>(4)</sup>、その日の日記でもう一度、子ども達の動きをとらえようとしたと考えられる。

16日の日記に見られる子ども達の動きには、4月13日以降の日記同様に「不思議なもの・こと」をめぐる動き（①：94）があるが、あらたに、自分なりの筋をつけることで、学習を作ろうとする一人学習での「つなげる」動き（⑤）と、お友達と自分とを「つなげる」ことで「なかよし」を作る共同学習に不可欠な動き（⑥）が見出されるのである。

まず前者である⑤は、造形の授業での「絵に描く」と「つたえる」を「つなげる」（89）、テーマと絵とを「つなげる」（90）、自分が通っていた幼稚園に行き自分が植えたチューリップを確かめ、学校の花壇のチューリップと幼稚園のチューリップとを「つなげる」（91）、学校の様々な場所を「おもしろい」「たのしい」として「つなげる」（93）、「見つける」を「調べる」につなげる（94）がそうであり、後者⑥は、お友達と自分とを「つなげる」（生活の「なかよし」）（92）、お友達の「おたずね」と自分とを「つなげる」

(学習の「なかよし」)(95)である。

#### 4) 一人学習の動きと共同学習の動きをつなげる

このようにして、子ども達の多様な動きに加え、一人学習と共同学習につながる動きがまさにとらえられたところで行われているのが、4月17日の1時間目の学習である。これまで、板書は、発言した内容についてだけのものであったが、この時間からは、発言した子どもの名前とその発言内容が書かれていることに気づかされる。これは、誰かが言ったことに「つなげる」共同学習の場を設定し、その「つなげる」の様態を教師がとらえて、学習指導を行うためである。110から117までは、「ちゅーりっぷのはなが どのように さいているかな？」であるから、どのように咲いているかを発表すれば、自然につながっていくから、「つなげる」ことにおいて子ども達が失敗をすることはほとんどない。それを見越しているのである。その結果、「つなげる」ことができたところを見計らって、「なかよし」と板書し、学習の「なかよし」つまり、お友達の話をよく聞いて「つなげる」ことができていることをほめて評価し、学習の「なかよし」の「つなげる」学習指導を実施しているのである。この日の日記には、16日同様に、「不思議なもの・こと」をめぐる動き(123)と、学習を作ろうとする一人学習での「つなげる」動き(118・120・121・124)、お友達と自分とを「つなげる」ことで「なかよし」を作る共同学習に不可欠な動き(119・122)がある。

薄田氏は、日記を通して、子ども達の動きは止まっていないことをとらえ、4月18日の「ふっくに かたい すぽんじが ついていた なぜか」を実施するのである。ここで言うフックとは、廊下にある荷物をかけるフックであるが、フックの高さの位置がちょうど1年生の子ども達の目の高さと同じであるため、安全上の理由でトイレを出てすぐの両側のフックに丸いスポンジが取り付けられているのである。既に、4月12日の38以降、フックがどうなっているかについて、「見つける」を出しているから、子ども達に問われるのは、その後、フックがどうなっているかを確かめたかという一人学習についての動きであり、これまで一人学習と共同学習の「つなげる」について学習指導がなされているから、この場でそれらの「つなげる」がどのようにできるかである。

これに符合するように、薄田氏は、130で「ぜん

いんに ふっくが ついてないのかな」と発問して、事実と事実を「つなげる」こととに迫りつつ、その意見を「つなげる」という場の設定を行っている。

最初に述べたように、「足場を求める」1年生であるから、「足場を求める」欲求を満たすべく、足場が学習となるような学習設定を行ってきたが、いよいよそれがここで試され、さらにそれをとらえた学習指導がなされ、学習は本格化していくのである。

#### (2) 1週間の学習指導

1週間の薄田氏の学習指導と、その結果としての子ども達の動きを見てみると、次のことがいえそうである。

- 1) 「足場を求める」1年生の特性を生かして、その足場が学習に置かれるように、さまざまな工夫をしている。
- 2) 学習に足場を置いた子ども達の関係や生活がぎすぎすしたり荒れることのないよう、最初に「相手を尊重する」学習指導を行っている。
- 3) 「相手を尊重する」学習指導は、「なかよし」として提示され、1週間の終盤頃に実施されている。
- 4) 「なかよし」の指導がなされるまでは、一人一人の学習が「つながる」学習指導と、子ども達が相互に「つながる」学習指導が同時に行われ、またそれらが同時に結果となってあらわれたことがとらえられて、学習の「なかよし」の指導が行われる。
- 5) 一貫してなされているのは、子ども達の動きを学習に転換するはたらきの学習指導である。

#### (3) 成長しつづける自分を感じる学習の楽しさ

1週間の学習指導において、「見つける」が「不思議なもの・こと」に転換され、「見つける」もの・ことに、意図や意味が付加されることで、筋をもった学習を子ども達はするようになった。また、このような学習は、「足場を求める」1年生の、求める足場を学習にし、安定した学校生活を送ることができるようになると考えられる。

また、その足場は「相手を尊重する」という学習の場であることを大前提にしつつ、筋をもった学習が持ち寄られてなされる学習の場(共同学習)での学習の「なかよし」の学習指導によって、個に閉じていた学習がお友達と「つながる」ことが、つねに意識された本物の一人学習に転換されるのである。こうして子ども達は、いつもお友達を自分のポケットに入れてどこへでも行き、学習をするのである。これらのことが、1週間の学校生活で起こることに

よって、変化していく学習と、そのことによってすごくなっていく教室の学習に、子ども達は目を見張るのである。1週間で目まぐるしく、成長していくお友達という自分は、楽しくないはずがないのである。このあとも、薄田氏によって学習指導が続けられることで、止まっていない自分、成長し続ける自分、したがって学習指導の余地をつねに残している自分となったのであり、その断面が2月9日の「朝の会」なのである。だから、2月9日も、まだ十分にない、成長し続ける自分があり、その来歴を知る教師によって、支えられ背中を押されながら、一歩踏み出すのであり、その姿が「朝の会」となって、教室に立ち現れたのである。

#### 4. 結 論

本稿が問題としたように、学習指導を教科の内容を教えるための指導とはせず、子ども一人ひとりが仲間の学習を意識し尊重しながら、自律的に学習ができるようになる、学習の方法—学習法—を体得するためのものであるとした時、教師の目は子ども一人ひとりに注がれ、また一人ひとりを支え、その背中を押して、子ども達をいつも動き続ける人、すなわち成長する子ども達に変貌させる。動き続ける人は、動き続ける人を尊重し、動き続けているそのために起こる様々な問題をともに解決しようと協力し、知恵をしぼるのである。1年生の教室も、このようなことの起こる場所になるのである。このために行われた、休む間のない学習指導は、最初の1週間を見ても、子ども達の動きを止めないことについて細心の注意が払われた、細やかなものであった。本稿で最初に述べた、また本稿のタイトルでもある、「学習指導によって育つ資質・能力」は、総じて言えば、自分達の動きを学習に転換する資質・能力である。また、細かく見れば、それを支えるのが、「見つける」を「～な～を見つける」「不思議なもの・こと」に変える学習指導の技術であり、そこに加えられるのが、それらの「見つける」によって得られた事実を「つなぐ」ことや、自分とお友達の学習を「つなぐ」ことができるようにする学習指導の技術である。

けれども、学習指導の最初に「相手を尊重する」ことが学習指導され、1週目の終わりにあらためて学習の「なかよし」が学習指導されたことからわかるように、学習指導の底流にはつねに学習の「な

かよし」という考え方が流れている。そのため、子ども達一人ひとりの学習の様態が変化することで子ども達相互の関係が変化し、学習の「なかよし」が崩れるその前に、学習の「なかよし」が学習指導されるのである。つまり、学習指導の基礎・基盤は、学習の「なかよし」であると考えられるのである。

#### 5. 残された課題

本稿によって、これまでの分析・考察で得られた、子どもの学習の様態を知るための手がかり—具体的思考・矛盾を足場とする思考・構造的把握—は、より細やかな学習指導がなされた場合には、どのようにそれが見出されるかについて、再検討の必要がある。なぜなら、本稿が検討した学習指導によって、子ども達の学習の変化は著しくなるから、以前検討したような、学習指導が十分なされていない状態での緩やかな学習の進み方における上記3つの思考は、しっかりとした学習指導のもとではもっと早くまた著しく変化をし、より早い時期に構造的把握に到達すると考えられるからである。

本稿で見た、学習指導がそうであるように、教育の営みは、繊細で、それゆえ一般化しづらいという側面を持っているので、本稿の考察は、一つのケースにすぎないとする読者も一定数おられるであろう。しかし、だからといって、どこにでも通用しそうな、一般的なのは、あまりに枠組みが大きすぎて、教育という営みからはずれるものとなってしまふ。もし、本稿が教育の理論を構築するための努力の一つであると読者に認めていただければ、どこにも通用しないように見えるケースこそが、一人ひとりの教師の作り上げた教育理論の体系なのであり、われわれ研究者はもちろん、多くの教師も、そこから学ぶしかなく、そのためには、本稿が試みたように、子どもの学習の事実を目を向け、いかに子どもから学ぶかを考え続けるしかないのである。こうして、あらためて本稿は、1年月組のみんなに感謝したいと思うのである。

#### 謝辞

この研究は、奈良女子大学附属小1年月組のみなさんのおかげで、新たな知見を得ることができました。教室におじゃまさせていただき、みなさんの学習を見せていただいたことに、あらためて感謝します。また、附属小をおとずれるたびに、職員室であ

たたかく迎えて下さった教職員の皆様と、直前の連絡にもかかわらずいつも快く受け入れて下さった堀本三和子副校長先生、学習法についてありとあらゆることを教えて下さっている杉澤学先生、そして様々に協力を賜り、担任としての子どもの見方を毎回教えて下さり研究を助けて下さっている薄田太一先生に、あらためて感謝いたします。ありがとうございました。

#### (注)

- (1) 重松鷹泰指導・滋賀県八日市場小学校『現場の児童研究（復刊）』海青社、1999年。
- (2) 例えば、本を通して何かを学ぶ場合を考えてみよう。本の場合、その本の成り立ちについて書かれた「はじめに」を読み、次に目次によって本の構造を確かめ、「おわりに」の部分に目を通してから全体を読むと、その著者が何を明らかにしようとして悪戦苦闘し続けているか、またこの本はどのような著者のどのような道半ばに書かれたものかが分かり、書かれている内容を相対化することができる。これは、本の著者について「相手を尊重する」学習方法である。
- (3) 2019年3月26における薄田氏との電話でのやりとりにおける、薄田氏の考え。
- (4) 事実、「朝の会」の板書は写真に撮られていない。

#### 付記

本研究は「教科道徳を視野に入れた小学校中学年モデルの構築」（基盤研究（C）16K04662）の助成を受けた。

平成31年3月29日 受理



付：授業記録

2019年2月9日奈良女子大学附属小・1年月組・薄田太一「朝の会」		
1	日直	立ちましょう。＜C 起立＞朝のご挨拶をしましょう。（C 先生おはようございます。みなさん、おはようございます）＜C 着席＞最初に、日直からのお伝えです。昨日、話し合いをして、今日のテーマが＜OP男、拍手＞決まりません。（OP男 えっ？）朝、最初に、みんなでテーマを決めるのはどうですか？（C いいと思います。いいと思います）＜校内放送が入る＞
2	T	遅かったね、今日の放送ね。だったら、朝の会で、そっちをやっているんですか？で、早くテーマが。そうしないと1時間目の学習できないもんね。そしたら、50分から歌が始まりますから、それまでに、さっそく、最初にそれ朝の会でしときましようか。で、テーマが決まったら、元気調べできるかな、今日、どうかな。と思ってます。はい、それでは、さっそく始めましょう。
3	日直	意見がある人は手をあげてください。MN男君。
4	MN男	今日のテーマは、みんなで話し合ってきたことを、考えてきたことを発表しようはどうですか。
5	T	考えたことってどんなことなんかな。（C 昨日と同じってことじゃないの）うん、まあ、ちょっと聞いてみようか。
6	MN男	どうですか。Z女さん。
7	Z女	はい。MN男君の考えたことを発表しようでも良いと思うんですけど、それだったらミニとんどをして考えたこととおんなじような気がするの、昨日考えた時に、T男君が言ったところの、時代が変わっているっていうところから、間違えました。時代が変わっているってことはどういうことかから、どういことがいと思います。どうですか。OP男君。
8	OP男	＜OP男、昨日の板書を印刷した写真を見ている＞はい。僕の考えは、僕の考えは、Z女さんと同じで、前の、T男君の、時代が変わっているとはどういうことかを調べ、ことかを、ことかがいと思います。どうですか。F女さん。【5分】
9	F女	はい。私は、間違えました。みんなはそれぞれ思ったことが、いっぱいあると思います。T男君が言った意見をいいと思う人もいるし、少し違うなと思う人もいると思います。私は時代が変わっているということはどういうことだろうと気になりました。なので、T男君のところから始めた方がいと思ったのですが、ほかの意見の人もあるので、T男君の意見ががいいと思う人だけで決めてはいけなと思います。なので、なので、T

		男君の意見ががいいと思った人の意見と、そうではないと思った意見を聞いて、そのまとまった一つのテーマをすれぱいと思います。ちなみに＜放送入る＞（放送 朝の歌を始めます。C またF女さんだよ。T F女さん、ちょっとごめん、覚えといて。そのあと、そのあと。なんでまたF女さんなんやろう。OP男 そのために僕、F女さんあてた。T 嘘や）＜C、北風小僧のかんたろうを歌う＞
10	日直	すわりましょう。
11	T	さあ、ちょっと、気持ちよく歌ったあと、おぼえてるかな、あのさっきの話のあとね。みんなもついていける？大丈夫？はい、じゃあ、聞く準備できた。聞く準備できてる？できてないね。さあ、F女さんは話す準備できてるよ。はい、お願いします。
12	F女	あの、私がいいと思うのは、この前、みんなてテーマを決めた時に、みんなは思ったことより考えたことの方がいいと言っていました。私は考えた、考えていうのと、思ったことというのは、ほとんどおんなじ意味だと思うので、そこは好きなようにして、1月ミニとんどをして思ったこと考えたことのところを、好きな、考えたことの方がいいと思う人は、1月ミニとんどをして考えたことにして、【10分】別に考えたことじゃなくてもいいと思う人は、1月ミニとんどをして思ったことでもいいと思います。先生はテーマがおんなじじゃないといけなと言っていました。考えたことと思ったことというのは、ほとんど同じ意味なのでどっちでもいいと思います。どうですか。（C キャッハハハ。T そうですか。やばい空気になってきてるな）GH男君。
13	GH男	はい。僕は、僕は、T男君から、始めてもいいと思います。でもF女さんが、F女さんも言ったこととちょっと似ていて、昨日は考えた、1月ミニとんどをして考えたことだったので、今日は1月ミニとんどをして思ったことがいと思います。どうですか。C女さん。
14	C女	はい。私はGH男君やF女さんの意見と違って、私は、とんど焼をどうすれぱなくならないようになるのか、が、いと思いました。どうですか。
15	T	C女さん。理由があつたら、理由を言ってね。なんでそう思ったのかを言ったら、みんなに伝わるよ。
16	C女	はい。なぜかという、場所や、問題のが出ていて、できなくなるかもあって、今まで、だから、できな、このまま簡単にできなくなるってことじゃなくて、どうすれば、とんど焼きをこれから続けられるのかを考えたいなと思ったからです。どうですか。V女さん。
17	V女	はい。私は、とんど焼き、とんど焼きが、は、



		やらなくなった、やらなくなっても、も、やらなくなったら、どうすればいいの、というテーマがいいです。なぜかというと、私はずっと、ずっととんど焼きを、ずっととんど焼きを続けてほしいし、もしとんど焼きがなくなったらどうしようと思ったからです。どうですか。
18	T	V女さんちょっと待ってね。これから、続けて欲しいし、どうすればこれから続けられるかって考えた時のテーマをあなたは今なんて言った？
19	V女	とんど焼きをやらなくなって、とんど焼きをやらなくなったらどうすればいいの。
20	T	とんど焼きをやらなくなったら、どうすればいいの。それと、でも、あなたの、これからどうすれば続けられるの。あれ、それ結びつかない。V女さん、どう思ってるのかな。これから続けたいと思ってるんだね。<V女、うなずく>それはいいんだね。これから、私はこれからとんど焼きを続けたいと思っています。うん。いるから、どんなことをみんなで話し合うかっていったら。【15分】どうなるのかな？これから？
21	V女	これから、とんど焼きをどうすれば続けられるの。
22	T	結局、ここに行き着くのかな。そしたら。同じ、C女さんと思いは一緒なのかな。その理由とか、何でかかっていう考えは、もしかしたら違うかもしれないね。うんわかった。どうすれば続けられるの。だから、続けられなくなったら困ってことやね。<V女、うなずく>うん、続けられなかったらどうしよう、だから、続けてもらわなきゃ困るよってことだったら、これと一緒にでも悪くないかな、そしたら。(C うん) <V女、うなずく>V女さんはそうだね。はい、はい。こういうことを考えていきたいってことやな。いいよ、わかりました、わかりました。どうですか。W女さん。
23	W女	はい。(T W女さん久しぶりにね。今日から復帰したのにもう意見言おうとしてるよ) 私は、V女さんのように、とんど焼き、とんど焼きを、これから続けられるにはどうすればいいかなと思ったので、(T はい) テーマは、とんど焼きをもっと続けられるには、どうすればいいかというテーマにすればいいと思います。どうですか。(T 久しぶりに来たのにね。はい、いいですよ)
24	T	もうお話に入ってるね。ねえ、久しぶりに来たのにね。はい、いいですよ)
25	W女	<ハウリング> (C ピーポ。先生) I J 男君。
26	I J 男	はい。僕の場合でいうと、(T 今のさ、I J 男君ぐらいの声でいこうか。今日、お客さん、今日たくさんいるから、後ろの方聞こえないかもしれないので、マイクがあっても

		ね。だから、今の I J 男君ぐらいの元気な声でぜひ、お願いします) 2月6日に、Oさんと話し合った、こと、で、<I J 男、昨日の学習の板書写真を見ながら>それで昨日、J男君が、Oさんは準備が大変と、書いてあります。だから、なんで、その下に、なんで材料が無くなっていくかを書いてあるので、そのことについて話し合えばいいと思います。どうですか。
27	T	何のこと？準備のことをあなたは話し合いたいのか？それはどうなのかな。
28	I J 男	どうして材料がなくなっているのかについて。
29	T	あああ。材料がどうしてなくなっているのか。
30	I J 男	どうですか。Y男君。
31	Y男	はい。<ハウリング> (C ピーポー、ピーポー) <C、笑う> (T どうしてもね、ボリューム上げるとこうなっちゃうんだよ)僕は高野君のところから始めるといいと思います。なぜなら、千年以上続く行事はやめるわけにはいかないということを話し合うと、G H男君のこれからも続くようにという、Z女さんのどうやってか、あの、こうすればいいとかに変わると思うからです。どうですか。
32	T	ちょっと待ってね。今のY男君の話聞いた？本当に聞いた？【20分】(C はい) ああ、ちょっとね、先生、今、びっくりしたことがあるんです。みんなはどう感じたかな。ああ、今、Y男君は、昨日、N男君が、いま口に加えてますけど、<N男、口にくわえていた昨日の板書の写真をとっさにはずす>N男君は、そうなんです。やめるわけには、千年以上続く行事だからやめるわけにはいかないところを話し合えば、ここ<T、板書の「どうすれば、とんど焼きはこれからづけられるか」を指す>につながらますよって言ったんですよ。意味わかりますか。多分、今、先生の方向いてない人、分かってないわ。ねえ、N男君の意見が気になったんだよね。Y男君は。昨日の、千年以上続く行事をやめるわけにはいけない。から、いい？、ちょっと待ってね。<T、板書「1000年いじょうつづく>やめちゃえば？(C ええ。だめだめだめだめええ。V女 やめたら日本の伝統行事の一つがなくなったことになる。年神様が天に帰れなくなっちゃう)<教室、騒然となる>いいじゃん、もう千年も続いたんだから。(C だめええええ)そう？じゃあ、こっち見て。Y男君、こう言いました。千年以上続く行事をやめるわけにはいけないんだ。これを考えていくと、これを考えていくと(I J 男 新しい発見が出る)うん、ここにつながらよってことなんです。そしたら先生、1個見つけた。もう1個見つけた。

		<p>同じことの言える発言見つけた。(C ううっ) 分かるそれ?本当に分かる?嘘や。今、Y男君はこう言いました。ここにつながるんじゃないですかって言ったんです。(C 先生、見えない。うっすい。オレンジ色です。それオレンジ色ですからね) すみませんね。見えなかったら変えるわ。新しいペンをおろしたら、薄かった。ごめんごめん。Y男君こう言いました。いまY男君と同じように考える意見が今言えると思うんだけど。これ分かったらたいしたもんや。このように、これ&lt;T、板書「1000年いじょうつづく ぎょうじをやめるわけにはいかない」を指す&gt;を考えると、ここ&lt;T、板書の「どうすれば、とんど焼きを これからもつづけられるのか」を指す&gt;にも考えられるよねえ。(C S男君?) S男君名前ねえぞ。I J男君がどうしたん。久しぶりに来たX女さん。</p>
33	X女	<p>I J男君が、どうして材料がなくなってるのかって言ってる。(T うん) で、Y男は百年以上 (C 千年。T 千年です。千年です。うん) 千年以上、続く行事は、行事の材料がなくなるとつなげる。</p>
34	T	<p>はああ、今、今、X女ちゃんの方から、X女の方からね、&lt;C、笑う&gt;すごい言葉が飛び出しました。つなげられる。この考えいいですな。R女さん、同じこと言ってたね。つながるよ。ということは、I J男君の確かに、よく気がついたね。X女さん、久しぶりによく気がついたね。どうして材料がなくなっているのかって、これを考えたら、ここ&lt;T、板書「どうすれば、とんど焼きは、これからもつづけられるか」に矢印を引く&gt;も考えられるんじゃないかって言ってるんです。(C こうしたら、こうしたら) そうでしょ。ねえ、そして、F女さんの言ってることをちょっと先生がもらえば、違うことを考えている人もいると思うけどって言ったけど、あのとき先生はあいって手をあげようと思ったんや。どうしたことかっていったらさあ、F女さんは考え方違う人もいるかもしれないんじゃないんですかって言ったん、【25分】あのね、今日いいんですけど、T男君がそうなんです。こういうこと言ったんだよね。(C 時代が変わってきている) よし、じゃあ、もっと聞こう、これと同じような意見を昨日言った人、誰かわかる? (C J男君。I J男君) どうだろう。昨日、ねえ、実は、ええとね、T男君とおんなじような意見を言った人がいるんじゃないかな。(C U男君、U男君) ああ、クイズじゃないんだから、よく考えて言ってね。時代が変わってきているって、T男君は言ったんだよね。これは、ちょっとむずかしいかな。先生、ヒントにね、ヒントで印をつけてるんだけどな。みんな気づいてくれ</p>
		<p>なかったもんね。(C Y男君?) 昨日、分かるように記しつけたんだけどな。分かるかな。(C Y男!) えっ。ええっ。先生、目立つように赤で印つけたんだけどな。赤の四角で囲ってるんだけどな。(C S男君、V女さん、V女さん) はい、はい。はいちょっと待ってください。みんなS男君って声大きいけど、S男君とええと、ええ、T男君が言ったことって、意味はなんとなく同じって気づく? (C 分かる!) それに気がつきますか? V女さんも同じこと言ってる?&lt;T 昨日の板書の写真を確認する&gt; &lt;T、昨日の授業の板書を確認する&gt;なるほどね。そうすると、I J男君の言ったことも全部、変わってきていることの証拠なんだよね。でね、だとしたらね、全部つながるね。先生、一つね、先生、F女さんの時に言いたかったことは、今言わしてもらうかな。何が言いたかったっていったらね、あのさ、ここ&lt;T、板書の「じだいが かわっているとはどういうことか」を指す&gt;からね、スタートする、よう分かる、よう分かる。決まったらここ&lt;T、板書の「テーマ」を指す&gt;に書くのよ。ここに書くのよ。だけどな、その前に、今日やる学習何ですか? (C あ、とんど焼き) みんなはどんなことを考えているのかなあ。 (C女 それテーマがないから) いや、ちゃうちゃうちゃう。学習内容なに?書いてるじゃん、前に。いちにのさん、はい。(C とんど焼き) やろ?やろ?もう1回、いちにのさんはい (C とんど焼き) だよ。今日やる学習はとんど焼き、だからテーマを決めましょ。テーマ、時代が変わっているとはどういうことか。(C ええっ) あれれれれ。とんど焼きどこいつやったの? (C ああ) あららら、(C あやややや) やばい。やばいやばい。時間がまずい、これ1時間目に入ってしまう。これまずいぞまずいぞ。誰かちょっと早く、早く。はい、じゃあ、続けていきましょうか。最後、言ったの誰やったっけ? (C X女さん) X女さん、ほんならどうぞ、つなげて。</p>
35	X女	<p>(C Y男に当てるつもりや) L女さん。</p>
36	L女	<p>今日は、今日は、とんど焼きは、どうして続けない、続けたいかを考えたらいいと思います。(T 理由はありますか?) なぜかという (T はい) みんな、みんなは、みんなは続、【30分】続けないとだめと言っていますが、それは、続いたか、続かなかったとかは、もう少し年が経たないと、分からないからです。</p>
37	T	<p>うん、だから、まあ、これからのこともじゃあどうかってことなんだね。先、分からないもん。ここもういっぺん、自分達で考えてみたいってことでしょう。ああ、なるほどね。</p>

		もう1人、聞いてみようか。時間なくなってきたから、そろそろ。はい。
38	L女	R女さん。
39	R女	昨日のテーマは、1月ミニとんどをして考えたことでした。
40	T	ちょっと待って下さい。お友達の方向いてなくて、喋っている人がいます。今はお話聞かなきゃいけないよね。どうぞ。
41	R女	昨日のテーマは、1月ミニとんどをして考えたことでした。それで、昨日の、今日の、テーマが一緒だったら面白くないから、私、今日は、題名がとんど焼きだから、テーマは、とんど焼きをつづけ、N男君が昨日言っていたように、とんど焼きを千年以上続いているのに、やめたら、神様、年神様が天に帰れなくなってしまうから、今回のテーマは、どうすれば、C女さんと似ていて、どうしたらこれからも未来のとんど焼きができるのか、を、話し合いたいです。(T これから先のね。これから先の) どうですか。
42	T	もう一人ぐらいかな。
43	R女	どうですか。M女さん。
44	M女	私はF女さんが言っていたように、1月ミニとんどをして考えたことか、思ったことだと思います。なぜなら、考えたことと思ったことはほとんど一緒だからです。
45	T	いいですか、それで？
46	M女	<M女、うなずく>
47	T	M女さんの自分の考え方をしっかり言えたのは良かったですよ。1個だけ、でも、先生、残念なことがあります。それは何かと言ったらね (C 理由) ちがう、ちがう、ちがう。今、R女さんが、さっきこう言いました。R女さんだけじゃないよ。昨日とおんなじテーマになっちゃったら面白くないから、どうしようかなって言ったの。そしたら、こっちがいいって言うんだったら、それは言わなければいけないよね。R女さんは、昨日は、昨日と同じテーマでは面白くないと言ったけど、私はこうがいいと思います。なぜかってことをしっかり伝えて欲しいな。そしたらね、みんなが、ああ、そっかあって思うと思う。M女さんの考え方はよく分かりました。さあそしたらね、もう1人聞いてみよう。F女さん、今ね、今、M女さんはこう言ったんですよ。そういう話があって、じゃああなたが、これでもいいの、いいんじゃないって言ったけど、今の聞いてどうでしょうか。時間なくなっちゃたんだけど。まずいんですよ。1時間目、始めないかんのや。1時間目が始まらないです。このままだったら。どう思いますか。
48	F女	あのう、(T はい) みんなの話を聞いて (T はい)、T男君のところがいいと言った人と、N男君のところがいいと言った人がいます。

		(T はい) T男君が言ったことは、時代が変わっているとはどういうことかということです。(T はい) それと今回の題名は「とんど焼き」で、そのことと、今、T男君が昨日言ったことは、(T うん) 【35分】 あんまりつながってないので、(T うん) T男君の意見はあんまり今回のテーマに合わないと思います。なので、N男君とかだったら、百年以上続く行事をやめるわけにはいかないということは、「とんど焼き」のところのテーマに合うので、(T うん) いいと思います。
49	T	そうですか。M女さん。M女さん。あなたも、とんど焼きを考えることで、こういうことも考えたらどうっていうんだったら分かるかな。それだったら別にいいかな。あのね、今の話、聞いて、先生思ったんだよ。T男君、今日ないの残念やな。T男君が言ったことってさあ、時代がこれから、これつながるへんか？こうならへん？<T、板書「じだいがかわるとは どういうことか」から「どうすれば、とんど焼きは これからつづけられるか」に青い矢印を引く> (C そうかな？) そうよ。これ<T、板書「どうすれば…」を指す>を考えることがこっち<T、板書「じだいが…」を指す>にもならへんか？(C うん、なる)なあ、どうでしょうか？もしかしたら、このこと<T、板書「どうすれば、とんど焼きは…」を指す>話合ってる時に、昨日と同じようなこんな意見出るかもよ。(C ああ) しかも、ここも出るかもよ (C ああ) 。だとすると、だとすると、ここの部分<T、板書「1月ミニとんどをして思ったこと考えたこと」を赤で囲む>も、もしかしたらこう<T、板書の「どうすれば、とんど焼きをこれからもつづけられるか」を指す>なるかもよ。(R女 これないの？) <R女、板書の「どうすれば、とんど焼きを これからもつづけられるか」を指す>だって、やってみて、わかったことあるでしょ。そうすると、あれれれれ、今多かったのこれやん<T、板書の「どうすれば、とんど焼きをこれからもつづけられるか」を指す>だったら、これを話すことで、これもこれもこれも、全部、いけるんちゃう？(C どうしたら、未来のとんど焼きを続けられるか) 未来の？じゃあ、C女さんのこの言葉、そのままっていいですか？(C はい) どうすればとんど焼きをこれから続けられるのか。いいですか？
50	F女	<F女、首を横にさかんに振りながら「やだ」と言う>C女さんの意見もいいと思うけど、(T うん) 確かにみんなの意見、T男君の意見 (T はい) 私が言った意見、M女さんが言った意見、は確かにつながっているけど、(T うん) どうすればとんど焼きをこ

		れから続けられるのかっていうのもテーマに合っているんですけど、(T うん) やっぱ私としては、C女さんの意見もいいと思うけど、(T うん) 一番いいと思うのは、だいたい意味は一緒なんですけど、(T はいはい) N男君が言った意味が(T これですか) いいなと思います。
51	T	はあ、これ、じゃあさあ、加える？N男君の思いも。(C 嫌だ、私ちよっと違う) これ言っとつたら、やばいやばいやばい。<C、笑う>普通だったら、このまま続けるんだけどね。ちよつちよつとね、(C やだ、続けたいの！) ちよつとそういうわけにはな。F女さん、F女さん、こういうことやろ。千年以上続く行事をやめるわけにいかない、N男君の思もやっぱりいいよなあって、N男君、本当に考えた？これすごいな。千年以上続く行事、じゃあ、どうすれば、千年以上続くって、ここに加えたらだめなん？(C どうしたら、千年以上とんど焼きを続けられるのか) F女さん、これだったらどうですか？
52	F女	オッケーです。
53	T	ああよかった。やっと許してもらった。じゃあ、こうしよう。こうしよう。やっとこれで朝の会、終われるぞ。<C、Tと一緒に声をあわせて言う>どうすれば千年以上続くとんど焼きをこれから続けられるのか。日直お願いね。ちよつと待って、これ記録とるわ。 (C 長、長。またか) だってこれ消えちゃうもん、だって。ごめん、ちよつとだけ時間ちょうだい。(C だめ) そんなこと言わんで。<T、板書を写真に撮る>(C はい、チーズ) そしたら、はい、準備しよう。【39分51秒】

付・表 (奈良女子大学附属小・1年組・担任：薄田太一・1週目の学習指導)

月日 曜日	時間 等の区 分	小区分	番号	板書	教師の出 の意義	共同学習 の学習指 導	一人学習 の学習指 導	学習とし てのあら われ	作文等	教師によるコ メント
4月12日 木曜日	朝の会	朝の会第 1部	1	・おしゅうじ						
			2	・そとたんけん うらやま						
			3	・おはながめられていた						
			4	・あしなばばち						
		(1年組 のお世 話をし てく れる6 年組の 「なか よし 委員」)	5	「ききたいこと」 おたず ね		相手を尊 重する				
			6	・うた (こつか) をうたい ましたか?						
			7	・6ねんせい の ぶんきょ うは むずかしい?						
			8	・おともだちの なまえ は?						
		朝の会第 2部	9	ちゅうりつづの はなび らが おちていた						
			10	りかしつで みつけた かいこつ			見つける (観察)			
			11	しろい ちゅうりつづ におしやが ちがつた は つばが さぼてん みた い		1つのこ とについ で気づい たことを 出し合う				
			12	あか						
			13	きいろーからん						



[illegible]



日記	44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
----	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

日記	46							因果関係 (ナから) 論理的矛盾 (でも)	ます。「えいえいおう」 (V男)「うらやま」うらやま すべりすぎ あそびすぎて おこいちゃんにあかんでやぶれんできて いったけ どたけはのしか ったからやまられませんでした でも なんかい か すべてたら ずぼんが やぶれてしまいました だからはんせいします でもあそ ばせてください。	たのしいきもちが せんせいに つたわ ってくるよ。うれしかったの ですね。
日記	47							根拠 (理由)	(MN男)「おんがく」 きょうは おんがくの がくしゅうをしました。た。おんがくが たのしかったです。いろいろな うたをうたいたいです。こんどからは ちゃんとうた います。すきだせんせいの おたずねがあったまうがよいとお もうりゅうをかんがえました。はっぴょうするひとの はなしを し っかりきいて おたずねするから だとおもいます。	せんせいがお はなしした ことをおぼえていて そし てかんがえて くれたのです ね。とてもうれ しいです。つば さくんのいう とおりだよね。みんなもおは なししてくれ るとうれしい ね。
日記	48							～な～を見つめる (詳細な観察)	(OP男)「さぼてんだ」 今日の あさ、せんせいと みんなと ちゅうりつぷをみにきました。すると、はなびらの なかに さぼてんに げんがたのものがありま した。びっくりしました。こんど なまえをしらべます。	すこい だいはつけんだよ。 えにいてあ るのもとても いいよ。なにか わかつたらせ んせいにしらせ てね。
朝の会第1部	49							・とりがえした	見つけた ことを出 し合う (観察)	
4月13日 金曜日	朝の会									

50	・つくしを みつけた					見つける (観察)		
51	・うらやまに いった							
52	・かるたを した							
53	・きれいな いし ※「きれいな」を青で囲む					～な～を 見つける (詳細な 観察)		
54	・ふしぎな はっぱ ※ 「ふしぎな」を青で囲む					～な～を 見つける (詳細な 観察)		
55	・おんがく							
56	・つばめが きた					見つける (観察)		
57	・さくらんぼに 12この つばみ					～な～を 見つける (詳細な 観察)		
58	・おかしの ふくろ							
59	・すけーと							
60	・さくらが さいていた					見つける (観察)		
61	・おべんとう							
62	・こくご							
63	・ろーずまりー					見つける (観察)		



なかよし 委員(6年 生)から のお伝え	64	<u>なかよしいん</u>	—	なかよく する(生活 の「なかよ し」)				
	65	へびびんがもちていた						
	66	くるまにきをつける						
	67	がっこうのいきかえりの ときに、「とまれ」のま— くがあつたらとまって みぎ ひだりを みる。						
朝の会第 2部	68	ちゅーりつぷ						
	69	しろいもよう		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)			
	70	1つのくぎに2つのはな		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)			
	71	はっぱがぐねわっていた		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)			

72	はなびらがそとにある		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)	～な～を 見つける (詳細な 観察)				
73	はなびらがきやべつのに おい		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)	～な～を 見つける (詳細な 観察)				
74	はなびらがないものがあった		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)	～な～を 見つける (詳細な 観察)				
75	・こういうふうに そとが ねに → もしかしたら	詳細な観 察を調べ たり・確 かめたく なると思 議なも の・こと に転換す る		不思議な もの・こと を見つけれ る					
76	・なかみ ふにやふにやの もの		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)	～な～を 見つける (詳細な 観察)				
77	・おおきい はなが 2つ		「～な～ を見つけれ る」(詳細 な観察)を 発表する	～な～を 見つける (詳細な 観察)	～な～を 見つける (詳細な 観察)				

4月13日 金曜日	一人学 習	日記	78						不思議な もの・こと を見つけ、 その理由 を考えよ うとする	(F女) きょうぬいものをしました。このまえはみかんちをじぶんでぬってそのうえからじぶんでちゅーりっぷのししゅをしました。でもきのうときょうちゅーりっぷをみたらししゅうとちがひました。いえにさいているちゅーりっぷはみんくのにくろいもようがありまして。こんどはもつとりつたいできにししゅうをしたいです。それにちゅーりっぷのひみつをしりたいとおもいます。	ししゅうをし てることにも おどろぎだ け いえのち ゅーりっぷを こまかくかん さつしてし しゅうとくら べていること がすごく いい！！
	一人学 習	日記	79						不思議な もの・こと を見つけ る	(H女)「チューリップ」きょうはあさチューリップをみごいきました。はーとのくさがありません。QR女ちゃんがみつめました。それとわたしははなびらがかさなつてはーとになつていてのをみつめました。それにすごくかやみかつたチューリップもありました。(※絵)それはなんと(※絵)2つはなびらがひらいていてはなぶんはぎゆとなつていました。ぬけていたチューリップのはなはきゆうくんがにんにくのようになつてました。	チューリップ をくわしくみ てみる。ぶんだ けでなくえ をつかてせ つめいてい るのがすこ くいいよ。

一人学 習	日記	80						不思議な もの・こと を見つけ る	(K女) きょう、ちゅうりっぷをみ ました。かげんの下にちゅうりっぷ の花びらが落ちていました。その花 びらをおうと、きやべつにおい がしました。せんせい、みんなに もらった、はなびらを、においま した。みんなは「えー」といっていま した。わたしのちかくにいたこが、 「ちよっとにおわして」といってく れました。だから、その51くんぐら いに、におわしてあげました。せん いん、「わー、へんなにおい、ヤミ」 といいました。みんなへんかおを したので、ちよっとはずかしかった です。でも、みんなと、はなせてよ かったから、はずかしいのもふっと んでいきました。	においをくわ しくかけてい るのがいね。 おぼろしいのぶ んをかけてい るのがすごい よ。はやくおと もたちとなか よくなるうね。
一人学 習	日記	81						自分の学 習を相對 化する	(MN男)「こくご」 きょうは こ くごが ありました。ちゃんと で きなかつたけど つぎはがんばり たいです。つぎ あつたときは が んばりたいです。ちゃんと できな かつた りゅうはじかんがなかか ったからです。	そうだね。しよ うがっこうの じかんは な か、けれど、はや くなれてかん ぱろうね。かん ぱれ！！
一人学 習	日記	82						不思議な もの・こと を見つけ る	(OP男)「ちゅうりっぷのみず」 もみはら おおすけ 今日の あさ、がっこうの ちゅー りっぷの ばなの なかに おみ ずが ありました。あめも ふって いないのに、どうして みずが は いっているのかなーと おもいま した。	どうしてなの か。せんせい もきになりま す。

4月14日 土曜日	一人学 習	日記	83						～な～を 見つける (詳細な 観察・計測 をともな う)	(G女) もんちゃんをそだてる のう ねえねえが うんどうじょ うで もんちゃんを ひろって かえってきました。きょうから い っしょに そだてることに なり ました。もんちゃんは 9ミリでし た。ちいさくて とてもかゆいけつ たです。	どのようにそ だつか たの しみです。かん ばって そだ ててください。
	一人学 習	日記	84						不思議な もの・こと を見つけ る	(N男) 「しょうがっこう」きのう、 しょうがっこうの20分やすみに おくじょうに いって、おくじょう で おこごこを しました。とても たのしかったです。ほしぐみの お ともたちと いきました。どあの うえに でつかい とれが あ りました。	おおきい と れを みつ けたのですね。 この きづき は とてもい いね。このき づきも みんな なに はっぴ ょうしてほし いです。
	一人学 習	日記	85						不思議な もの・こと を見つけ る	(O女) 「あさりのかすたねつと」 きょう ばすたを やりました。そ のときに あさりの からの な かの みを とりました。それで つくりました。ばちばち おとが きこえました。つめきりの おとが しました。ぎろの こおとも しま した。3てん4せんち。	おとを くわ しく かけて いるのが と ても いいで すね。「つめき りの おと」 「ぎろの お と」よく わか るなあ。



	一人学 習	日記	86						学習の「な かよし」	(CD男) 「かたちのつたえかた」 きのう おともだちが こういう ふうにと いってしまいました ど うやったら みんなに わかるか かんがえました。それは なにかに にていると あらわすです。として いる かたちを つまみのような かたちで ひらいている かたち を かめかめはの かたちと い えばいいと おもいました。	なるほど、おと もたちの い ったことを かんがえて みたことが すばらしいよ。 これが がく しゅうです。こ んどは この のいくんの かんがえを みんなに つ たえてね。
4月15日 日曜日	一人学 習	日記	87						へな～を 見つける (詳細な 観察・計測 をともな う・連続 的)	(G女) げんきにぞった きよ う もんちゃんか 10ミリに なっていました。シタスは あんま り たべていませんでした。でも きょう ねえねえにキャベツがい いと いってました。キャベツを あげてみるといっばい たべてい ました。	せいちようし た ようすを かけているの が とてもい いよ
	一人学 習	日記	88						学習の「な かよし」	(CD男) ぽくどりについて」き んようびに おともだちが ゆっ ていた むくどりの ことを か んがえました。むくどりがなと お もいました むくどりは、きいろの くちばしと あしでからだがぐ れ一で すずめか です。につぼん の どこにでも すんでいて き の うえに もれで せいゆつし ていて てんてきは ねこと か らすと へびです。	いい がくし ゅうが でき ているよ。のい くんは むく どりを みた ことが あり ますか。



日記	90	つなげる (テーマ と絵とを つなげよ うとする)	(H女)「ずがにうさく」きょうは ずがにうさくを しました。かおを かかひが なくとも せんせいの いうとおりに めを つぶって じぶんの でで さわってみると ほんとうに じぶんに にている よくな えが かけました。わたし は「みらい げんざい かこ」をつ かって みらいを ひょうげんし てセーラふくを かきました。あた まごはリボンのカッチューシャを つけています。いろは ピンクでセ ーラふくのポケットには あかい ペンとくろいペンがあります。じよ うずに かけて うれしかったです。	とても よく かけてたよ。 「みらい」を てーまにかい たと いうの も とても かんがえたね。 あいであがす ばらしい。
日記	91	つなげる (学校の チューリ ップと幼 稚園のチ ューリッ プをつな げる)	(K女)きょう、わたしがかよって いた ようちえんに いきました。 なせかというと、11月22日にちゆ りっぷの きゅうこんを うえ たので、その ちゅうりっぷが さ いてるかどうか たしかめいき ました。「わたしのちゅうりっぷが なにいろかな」とおもいながら い きました。いってみると なんと きいろのちゅうりっぷでした。わた しが すきないろが さいてたの で、「やったー」とおもいました。 がっこうの ちゅうりっぷは、はな びらが とても ひらいているけ れど ようちえんの ちゅうりっ ぷは、かさなってて きれいに さ いていました。ようちえんの ほう が たくさん さいていました。な んでだろうと おもいました。	ようちえんの チューリップ とがっこうの チューリップ を くらべて いるのが す ごくいいよ。き もちもよくわ かります。「な んでだろう」と おもったこと のこたえが わかるといい ね。

日記	92						生活の「な かよし」	(N男)「こうえん」 きょうおち やの おれこの かえり あみ ちゃんと ちほちゃんと じゅり ちゃんと ほくで、こうえんで あ そびました。おうちごっこで おと うさん やくをしました。こうたい で おたんじょうびを しました。 でも、じゅりちゃんだけ できま せんでした。つきは やります。	おともだちの ことを おも う やさしい きもちが す てきだね
日記	93						つなげる (学校の 様々な場 所を面白 い・楽しい 場所とし てつなげ て考える)	(W女)「にぎやかしようがっこう」 みんなが たのしく あそべる ひろい こういてい。いろんな きよ うしつが あつたり いろんな あそびが あつたりする がっこう うの なか。いろんな ところが た ある しようがっこう。どこが た のしい どこが おもしろいと いうところを いまから しよう かいます。うらやまが たのしか ったです。じゅうちょうも たの しかったです。6ねんせいと いっ しょに いろんな ところ。いっ たのも たのしかったり おもし ろかったです。おんがくしづなども たのしかったです。	たのしい こ とを たくさ ん みつけ ることが でき ているのが いいね。がっ こを いろい ろ たんけん しようね。
日記	94						つなげる (「見つけ る」を「開 ける」につ なげる)	(K-L男)「こいのぼり」きょう こ いのぼりを みました。それで、こ いのぼりについて しらべました。 こいは、たきを のぼって いく おさかなです。とても げんきで つよいです。こどもに つよく な ってほしいから こいのぼりを あげます。ひろしまかーぶの おう えん ぐっずにも つかわれてい ます。	こいのぼりを みて、それから こいのぼりを みて しらべ たというのが とても いい です。すごい よ。これこそ が、かくしゅう です。こいのぼ りには、そんな

[illegible]



102	・ばすてい <u>ことり</u> を み つけた ろ ・とかげ								
103	・ようちえん〜ちゅーりっ ぶ								
104									
105	・くらげの にんぎょう→ おたずね (くらら ちゃん)			分らないこと は「おたず ね」する				関係する 別の〜を 見つける (比較観 察)	
106	・せみ みがいの なぎご えの とりーおたずね			分らないこと は「おたず ね」する					
107	ちゅーりっぶ								
108	・くきのながさ25せんち (15せんち)							〜な〜を 見つける (詳細な 観察・計測 をともな う・連続 的)	
109	てーま ちゅーりっぶの はなが どのようにに さ いて いるかな?								
110	(V女)はなびらのまんな かがばら (はなびら7、1 せんち※赤で板書) のよ う・そとかげはつづじ (は なびらが8、5せんち※赤 で板書) のよう			「〜な〜 を見つけ る (詳細な 観察・計測 をともな う)」を出 し合う			〜な〜を 見つける (詳細な 観察・計測 をともな う)		

111	(I男)ひとつだけ はな ひらが そとに してい た					～な～を 見つける (詳細な 観察)			
112	(N男)はっぱが 15せ んち いじょう					～な～を 見つける (詳細な 観察・計測 をともな う)			
113	(S男)くきの なかさ 30せんち いじょう					～な～を 見つける (詳細な 観察・計測 をともな う)			
114	(R女)あかむらさきの はな くきから はなび らが とれていす					～な～を 見つける (詳細な 観察)			
115	(Q女)はなびらが われ ている。ここが ほそいの と ふといのがある					～な～を 見つける (詳細な 観察)			
116	(X女)くりくり 「こう なっている」そとになっ ている。なかにまいていす。 「えでかく」					～な～を 見つける (詳細な 観察)	総て描く 〈伝える ための表 現〉	総て描く 〈伝える ための表 現〉	
117	なかよし	学習を学 習の「な かよし」 に転換す る						お友達 の話を聞く	

4月17日 火曜日	一人学 習	日記	118					つなげる (見つけ たものを 「調べる」 につなげ る)	(E女)「さくらのみ」きょうは、 がっこうへいくとちゅうで、よ うちえんのさくらのきにみ どりのみがついでるのをみ つけました。かえてから、しよく ぶつづかんでしらべたら、そ めいよしののかじつだとわか りました。これからあかくなる のがたのしみです。	みつけた ものをもつて かえり、それが なにかずか んでしらべ たことがす こいね。これこ そがくしゆ うだよ。
		日記	119					つなげる (自分と お友達を つなげる ＝「なかよ し」)	(G女)「みんなとならたのしい」 きょうおんがくのがくしゅう でしろうまジェンカのうたと リズムうちをしました。みんなとな らとってもたのしかったです。 ひとりだとさみしいからです。つ ぎもたのしいおんがくのが くしゅうでいっぱいまなひま す。	せんせいも みんなと う たつておど ってたのし かったよ
		日記	120					つなげる (今日わ からなか ったこと を明日の 「しらべ る」につな げる)	(K女)たんぽぽとわたけきよ う、たんぽぽとわたけをいえの ちかくでみつけました。たんぽぽ は、きいろのびなひらがほそなが くて、なんまいあるかわからなか ったです。あしたたんぽぽをと つてなんまいあるかしらべた いです。「みんなてをつないでな かよくあそんでいるなー」とおもひ ました。なぜかというとはなびら がたくさんかざっていき れいげからです。わたけは、しろい ぶぶんをふーとふくととん でいきました。たねがとおくにと んで、おちたところにたんぽぽが さきます。わたけがきもちよさそ うにとんでいくのを見て、わたし もわたけのようにきもちよく とんでいきなりました。	はなびらや わたけのよう すをたえ をつかつて じょうずにか けてるね。びっ くりしました。

日記	121					つなげる (鳥の鳴き声を「調べる」につなげる)	(N男)「ことり」きょう しょうがっこうの ちかくの こうさてんで、せみがいの なきこえのことりを みつけました。きせつ ちがいに おもいました。しらべたら、かわらひやという とりかなとおもいました。あしたも あえとおもいます。	「きせつちがいだ」と おもって、それから しらべた ことが とてもすばらしいです。いいがくしゅうが できてるよ。くわしいことが わかったら、またおしえてね。
日記	122					つなげる (お友達のおおむしと自分のダンゴムシをつなげる)	(CD男)「だんごむしのだんご5ごう」きょう おともたちが あおむしの はなしを してました。ほくの いえにわ うまれてとうめいになって だっぴしたぬけがらを たべて、こどものときは おかあさんの うんちが ごはんで こんくりーとを たべれるいきもの。だんごむしです。なまえは だんご ごとうです。せんせいが きいてくれた ことですが、むくどりは わかくさやまで みたことが あります。	せんせいの おたずねにま で こたえてくれて ありがとう。おかげで くわしく わかっただよ。
日記	123					不思議なもの・ことに ついて その不思議さを確かめる	(GH男)「ちょう」きょう しょうがっこうの かえりみちに しじみちょうの なかまを みつけたので、すでで つかまえました。はねを さわったとき ちょうの なかまの けが へんかしだ。りんぷんに はねが おおきくおそろえます。さまざまないろの りんぷんが はねの ひょうめんに かわらの ように ならんで、ふくさつな もようをつくりだしてい	せんせいも、みてみいなあ。りんぷんを、ごまかいところまでみていて、すごいとおもいます。

[illegible]







**A Study on Attribute and Ability of Children by Learning  
Guidance: An Analysis on Children's Diary and Teacher's  
Blackboard Writing in First Grade Class(1-nen-Tuki-gumi)  
during One Week of Entering Nara Women's University  
Attached Elementary School**

Yoshihiro TAMEIKE